



JICAインターンシップ活動報告



2014/9/30

東京工業大学大学院

修士1年

祖田 真志

発表概要

1. はじめに
2. インターンシップを通しての目的・目標
3. 業務内容
4. 何が得られたか
5. 反省点・もっと知りたいこと
6. 今後の課題・抱負

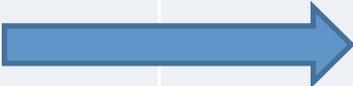
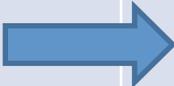
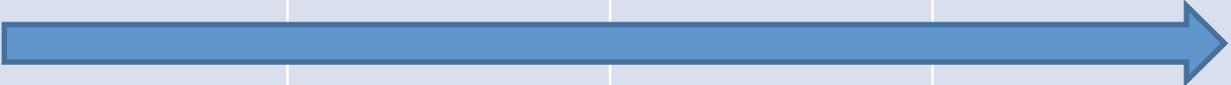
はじめに

- ✓ 期間 . . . 9/1～9/30
- ✓ 勤務日数 . . . 20日
- ✓ 配属部署 . . . 社会基盤・平和構築部 都市・地域開発
グループ第一チーム

インターンシップを通しての目的・目標

- ✓ 国際協力におけるJICAの役割の理解
 - 国際協力案件の概要・特徴の把握
 - 各ステークホルダーとの関係性の把握
- ✓ 職員の方々はどのような考えを持って、仕事をしているか
 - 日本が援助をする意味は？
- ✓ 勉強・研究していることの有用性に関して
 - 今後研究を進めていく上で、重要なことは？
 - 研究がより社会に貢献するものとするためには？
- ✓ 将来のキャリアを考える
 - 社会人としてのマナーを身につける
 - 働くということを体験する

業務内容～スケジュール

	第1週	第2週	第3週	第4週
土木アーカイブの作成 (ボスプラス横断鉄道概要 取り纏め)				
島嶼国研究の文献調査・ 取り纏め				
北部回廊M/P 物流関連情報収集				
課題別研修同行				
各種打ち合わせ参加 (G内検討会、帰国報告 会)				

業務内容～一部紹介① 島嶼国研究

島嶼国研究の文献調査・取り纏め

島嶼国における地域開発のあり方の調査研究のための参考文献収集・レビュー

概要

JICAの島嶼国を対象とした国別研究、調査研究、案件終了報告書



- 島嶼国・地域に共通する政策の把握・取りまとめ
- 他国機関の援助動向の把握・取りまとめ
- JICAの援助方策の傾向の把握・取りまとめ
- 類似案件からの教訓とその活用方法の取り纏め
- 島嶼国の案件リスト作成

業務内容～一部紹介① 島嶼国研究

島嶼国研究の文献リストの一部例一

研究の参考となる案件のセクターごとのリスト作成

セクター	国	案件名(年)
エネルギー	カリブ地域	中米・カリブ地域 省エネルギー分野にかかる情報収集・確認調査(2014)
	ソロモン諸島	ソロモン諸島国 長期電力開発マスタープラン調査ファイナルレポート(2001)
	バヌアツ	ヴァヌアツ共和国 チーム派遣地方電化プロジェクト終了時評価報告書(2002)
	パラオ共和国	パラオ共和国 電力供給改善マスタープラン調査ファイナルレポート(2008)
	マーシャル諸島	マーシャル諸島共和国 エネルギー自給システムプロジェクト詳細計画策定調査報告書(2013)
	ベリーズ	ベリーズ国 太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画準備調査協力準備調査報告書(2010)
運輸交通(海上輸送)	サモア	サモア独立国 島嶼間新貨客船建造計画基本設計調査報告書(2008)
	トンガ	トンガ国 離島間連絡船建造計画基本設計調査報告書(2007)
	ミクロネシア国	ミクロネシア国 国内海上輸送能力向上計画準備調査報告書(2013)
	キリバス	キリバス国 港湾開発計画調査最終報告書 要約編(1995)
	パプアニューギニア	パプアニューギニア独立国 運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクト詳細計画調査報告書(2013)
	ミクロネシア国	ミクロネシア連邦 離島漁村連絡船建造計画基本設計調査報告書(1997)
	東ティモール	東ティモール 東ティモール港湾セクター情報収集・確認調査報告書(2014)
運輸交通(道路)	パプアニューギニア	パプアニューギニア独立国 道路整備能力強化プロジェクト 詳細計画策定調査報告書(2013)
	パラオ共和国	パラオ国 首都圏基幹道路改修計画基本設計調査報告書(2006)
	パラオ共和国	パラオ国 島間連絡道路改修計画基本設計調査報告書(2004)
	東ティモール	東ティモール民主共和国 道路関連技術マニュアル策定支援プロジェクトプロジェクト事業完了報告書(2008)
運輸交通(その他)	バヌアツ	建設機械整備能力向上プロジェクト事前調査報告書(2009)

業務内容～一部紹介② 課題別研修同行

課題別研修同行(都市計画総合コース)

インセプションレポート発表はじめ、講義参加、多摩ニュータウン見学などに同行



- 各研修員の国特有の都市計画・開発に関連した課題の把握
- それに対する各々の考えに触れる
- JICAと途上国研修員との関係性の把握



何が得られたか

✓ JICAの役割の理解について

- ✓ 配属部署における案件立案の過程、案件実施プロセスの把握
→ 予算の制約、案件成立後の発展性（ビジネスマインド？）
- ✓ JICAと各ステークホルダーとの関係性の把握
→ JICAと各分野専門家、コンサルタント、現地カウンターパートとの関係性
- ✓ JICAの雰囲気やJICAで仕事をするということがどういうことか
- ✓ 途上国職員の都市計画に関する考え方の把握
→ バックグラウンドの異なる研修員の問題認識の差異

✓ 研究・勉強の実用性について

- ✓ 今後の研究の方向性についてのアイデア
- ✓ 案件立案における研究の立ち位置

反省点・もっと知りたいこと

- ✓ JICAの仕事の全体像があまり把握できていない
→他部署の役割・案件概要などの理解が曖昧
- ✓ 配属部署で実施されている案件により多く触れるように動くべきだった
- ✓ 自分の専門である物流・交通インフラに関連した案件でもう少しお手伝いできるように行動するべきだった
- ✓ 参加可能時期が短かった？
- ✓ 仕事をもっとスピーディーに！

今後の課題・抱負

- ✓ 専門分野に限らず、幅広い分野の知識・教養をつける
 - 各国の歴史的背景、文化的背景など社会的な分野に関しても
- ✓ 専門分野に関しては、さらなる追究を！
 - 開発途上国における交通インフラに関して
- ✓ 修士論文頑張ります！
 - 内陸開発途上国と沿岸国を結ぶ交通インフラ整備促進に向けて

ご清聴ありがとうございました！！

短い間でしたが、
大変お世話になりました！